

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッピ
コード番号 7932 URL <http://www.nippi-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 隆男
問合せ先責任者 (役職名) 経理担当常務取締役 (氏名) 河村 桂作

TEL 03-3888-5117

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	29,738	△8.8	2,163	31.5	2,088	42.4	1,869	108.2
28年3月期第3四半期	32,602	4.2	1,645	4.0	1,465	1.8	897	3.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,828百万円 (55.3%) 28年3月期第3四半期 1,177百万円 (△3.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	129.95	—
28年3月期第3四半期	62.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	66,639	27,042	39.9
28年3月期	64,497	25,361	38.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 26,613百万円 28年3月期 24,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△2.5	2,700	25.2	2,500	34.7	2,100	83.5	145.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	14,445,000 株	28年3月期	14,445,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	59,400 株	28年3月期	57,729 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	14,386,319 株	28年3月期3Q	14,388,572 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかに回復している一方、海外では英国のEU離脱問題をはじめ、米国新政権の政策への期待と懸念が、世界の政治及び経済の先行きを不透明にしております。また、これに伴う為替を中心とした金融市場の大きな変動が、今後の実体経済にも影響を与えることが懸念されております。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、カプセル用ゼラチン、輸出向けペプチドなどが好調に推移した一方で、ハンドル用革の取引量は大きく減少し、また、輸入商材を国内中心に販売している連結子会社においては、円高により売上高、仕入高ともに減少し、さらに有機穀物は出荷の期ずれなどにより減少する結果となり、29,738百万円(前年同四半期比8.8%減)となりました。

一方で、上半期の円高によって原料価格、燃料費、電力料が下落し、製造コストを押し下げた結果、売上総利益は、7,363百万円(同3.4%増)、また、効率的な広告宣伝費の投入に努めたことで経費が減少し、営業利益は、2,163百万円(同31.5%増)、経常利益は、2,088百万円(同42.4%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、長期棚上債権の売却による特別利益185百万円、さらに、税務上のスケジューリング不能一時差異の実現で税金費用が軽減したことなどにより1,869百万円(同108.2%増)となりました。

セグメントの状況につきましては以下の通りであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

製造コストは低減しているものの、国内販売は引き続き天然羊腸回帰の傾向で軟調に推移し、輸出販売においては価格競争の激化で苦戦が続いております。

この結果、売上高は、6,750百万円(前年同四半期比6.7%減)、営業利益は、1,425百万円(同7.6%減)となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチンは、サプリメントなどのカプセル用が好調に推移し、レンジアップ用途の販売も堅調に推移いたしました。また、健食用ペプチドの販売は、海外向けが伸張いたしました。

この結果、売上高は、6,374百万円(同3.0%増)、営業利益は、833百万円(同96.8%増)となりました。

③ 化粧品関連事業

化粧品については、宣伝内容の見直しや広告媒体の効率的運用により健康食品の顧客数、売上高は伸張いたしました。また、「スキんケア・クリーム」をはじめ化粧品の顧客獲得が伸び悩み苦戦いたしました。経費については、広告宣伝費の効率的な投入に努めた結果、大きく減少いたしました。

この結果、売上高は、2,561百万円(同1.3%減)、営業利益は、106百万円(同1,520.0%増)となりました。

④ 皮革関連事業

自動車用革は、三国間取引を中心に売上高は減少いたしました。紳士靴用革は堅調に推移いたしました。また、婦人靴用革の苦戦が続いております。一方で、原材料価格の水準が安定してきていることなどにより利益率は改善しております。

この結果、売上高は、7,115百万円(同18.1%減)、営業利益は、220百万円(同2.0%増)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

再開発を進めている東京都足立区及び大阪市浪速区の土地で賃貸事業を展開しております。

東京都足立区の再開発地区におきましては、暫定利用として、足立区に対し仮設小学校用地の賃貸を開始しております。

この結果、売上高は、580百万円(同12.1%増)、営業利益は、454百万円(同19.4%増)となりました。

⑥ 食品その他事業

iPS細胞関連、BSE検査キットは順調に推移したものの、円高による輸入価格下落に伴い、売上高はイタリア食材、輸入建材、有機穀物などが減少いたしました。

この結果、売上高は、6,356百万円(同13.9%減)、営業利益は、184百万円(同26.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、66,639百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,142百万円の増加となりました。

① 資産の部

流動資産は、現金及び預金が817百万円、受取手形及び売掛金が1,280百万円、商品及び製品が1,293百万円それぞれ増加した一方、原材料及び貯蔵品が234百万円、未収消費税等が417百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ2,681百万円増加し、22,191百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が695百万円減少しましたが、投資有価証券の評価替えなどにより、投資その他の資産は213百万円増加しました。なお、破産更生債権等が売却などにより1,277百万円減少しましたが、同時に貸倒引当金も1,227百万円減少しております。この結果、固定資産は前連結会計年度末と比べて533百万円減少し、44,433百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、支払手形及び買掛金が713百万円、短期借入金が1,734百万円増加した一方、未払法人税等が270百万円、賞与引当金が221百万円、設備関係支払手形などのその他流動負債が606百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ1,293百万円増加し、20,877百万円となりました。

固定負債は、社債が130百万円、長期借入金が342百万円、長期未払金が345百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ831百万円減少し、18,720百万円となりました。

③ 純資産の部

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加した一方、為替換算調整勘定が減少したことにより、前連結会計年度末と比べ1,680百万円増加し、27,042百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月2日に公表いたしました数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社グループの有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。この変更は、カラーゲンケーシング富士宮第2工場が本格稼働を開始したことを契機に、減価償却方法の見直しを行った結果、生産される製品については今後安定的な需要が見込まれており、また、主要製造設備は将来の耐用年数にわたって安定的な稼働が見込まれることから、費用配分をより適切に損益に反映させる方法が合理的であると判断したことによるものです。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は359百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が359百万円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,060	4,877
受取手形及び売掛金	7,258	8,539
商品及び製品	5,327	6,620
仕掛品	654	586
原材料及び貯蔵品	1,050	816
未収還付法人税等	7	136
未収消費税等	438	21
繰延税金資産	377	283
その他	399	381
貸倒引当金	△64	△69
流動資産合計	19,509	22,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,438	9,156
機械装置及び運搬具(純額)	2,715	2,311
土地	27,549	27,549
リース資産(純額)	156	113
建設仮勘定	22	65
その他(純額)	184	174
有形固定資産合計	40,066	39,370
無形固定資産		
リース資産	14	9
その他	219	173
無形固定資産合計	233	182
投資その他の資産		
投資有価証券	4,277	4,532
長期貸付金	78	78
繰延税金資産	37	37
破産更生債権等	1,282	5
その他	340	348
貸倒引当金	△1,350	△122
投資その他の資産合計	4,666	4,880
固定資産合計	44,966	44,433
繰延資産	20	14
資産合計	64,497	66,639

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,553	8,267
短期借入金	8,378	10,112
1年内償還予定の社債	340	260
リース債務	67	56
未払法人税等	331	61
未払消費税等	36	95
賞与引当金	456	235
役員賞与引当金	48	25
ポイント引当金	34	34
その他	2,336	1,730
流動負債合計	19,583	20,877
固定負債		
社債	920	790
長期借入金	9,891	9,549
長期末払金	1,011	666
リース債務	114	73
繰延税金負債	1,049	1,157
再評価に係る繰延税金負債	3,992	3,992
役員退職慰労引当金	429	408
退職給付に係る負債	1,828	1,780
厚生年金基金解散損失引当金	69	69
資産除去債務	5	5
その他	238	226
固定負債合計	19,551	18,720
負債合計	39,135	39,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	8,545	10,271
自己株式	△33	△34
株主資本合計	14,847	16,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,205	1,307
繰延ヘッジ損益	△13	14
土地再評価差額金	8,855	8,855
為替換算調整勘定	301	60
退職給付に係る調整累計額	△223	△195
その他の包括利益累計額合計	10,125	10,042
非支配株主持分	389	428
純資産合計	25,361	27,042
負債純資産合計	64,497	66,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	32,602	29,738
売上原価	25,478	22,375
売上総利益	7,124	7,363
販売費及び一般管理費	5,479	5,200
営業利益	1,645	2,163
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	96	100
為替差益	-	9
持分法による投資利益	-	7
その他	47	42
営業外収益合計	147	162
営業外費用		
支払利息	203	159
手形売却損	24	20
為替差損	11	-
持分法による投資損失	3	-
その他	83	57
営業外費用合計	326	236
経常利益	1,465	2,088
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	0
債権売却益	-	185
特別利益合計	0	185
特別損失		
固定資産除却損	0	44
特別損失合計	0	44
税金等調整前四半期純利益	1,466	2,229
法人税、住民税及び事業税	358	191
法人税等調整額	158	132
法人税等合計	516	323
四半期純利益	949	1,906
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	897	1,869

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	949	1,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	206	101
繰延ヘッジ損益	44	33
為替換算調整勘定	△49	△241
退職給付に係る調整額	24	27
その他の包括利益合計	227	△77
四半期包括利益	1,177	1,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,115	1,786
非支配株主に係る四半期包括利益	61	41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。